ドライブレコーダー
AN-R015

取扱説明書

ドライブレコーダーをご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に**『安全上のご注意』**(P.4~5)**『ご使用の前に』**(P.6)**『ご使用上のご注意』**(P.7)はご使用前に必ずご一読ください。

本製品につきましては弊社のホームページ上でも最新情報、資料等をご提供します。その他お問い合わせは弊社サービスまでお願いいたします。

CONTENTS

安全上のご注意…… 4
ご使用の前に…… 6
ご使用上のご注意…… 7
製品の構成…… 8
各部名称…… 8
セットアップと取付…… 9
推奨取付角度…… 12
録画解像度と録画時間…… 12
LED状態別動作説明…… 13
保存フォルダ別録画可能時間…… 13
本体初期設定値…… 13
micro SDカードの管理…… 14
動作説明…… 15
前方/後方Pre View映像説明…… 15
MENU画面説明…… 17
設定画面説明…… 19
添付KEIYO Viewer説明…… 27
本体のアップグレード…… 34
製品仕様…… 35
保証書…… 36

安全上のご注意

- 安全に正しくご使用いただくため、ご使用の前によくお読みください。
- お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない「禁止」内容です。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
❗	実行しなければならない内容です。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

取付作業をはじめる前に

⚠ 警 告

- **配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…**
  ショート事故による感電や、けがの原因となります。 ⚠

結線の注意

⚠ 警 告

- **ケーブル類は、取付説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…**
  ステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。 ❗
- **接続ケーブル類の配線は高熱部を避けて行う…**
  ケーブル類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。 ❗
- **エアバッグシステム装着車にケーブル類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…**
  エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。 ⃠

⚠ 注 意

- **正規の接続をする…**
  誤った接続をすると、火災や事故・故障の原因となることがあります。また、ケーブル類の改造をしないでください。 ❗
- **ケーブル類の結線終了後は、ケーブル類をケーブルクランプや絶縁テープで固定する…**
  ケーブル類が車体部分との接触により、すり切れてショートし事故や火災の原因となることがあります。 ❗
- **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…**
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。 ⃠

安全上のご注意

異常時の処置について

⚠ 警 告

- **故障のまま使用しない…**
  故障した状態ではご使用にならず、必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- **異常のまま使用しない…**
  万一煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- **ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…**
  ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズをご使用されると火災の原因となります。

取付場所について

⚠ 警 告

- **エアバッグ装着車に取付る場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取付ない…**
  エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
- **本製品を次のような場所に取付ない…**
  前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取付ると運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。

⚠ 注 意

- **雨が吹き込むところなど水のかかるところや湿気・ほこりの多いところへは取付ない…**
  本製品に水や湿気、ほこりが浸入すると誤動作や発火、発煙の原因となることがあります。
- **振動の多い場所やしっかりと固定できない場所には取付ない…**
  誤動作や本体がはずれて、けがや事故の原因となることがあります。

⚠ 注 意

- LED式の信号機、テールランプ、ストップランプ、蛍光灯などはその点灯(回路)方式によっては、点滅または消灯した状態で録画される場合があります。
- 他の無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
- 本製品のケースを開けないでください。ケースを開けると内部の部品が破損することがあり、保証の対象外となります。
- ドライブレコーダーの機能について、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。また、録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご活用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 映像の未録画、録画されたデータの破損等によるあらゆる損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご使用ください。本製品は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本製品は日本仕様です。
- 本製品は日本国内向け(日本語)仕様です。他国の言語には対応しておりません。

ご使用の前に

保証範囲

- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責を負いません。
- 本製品は車の衝撃または事故映像を保存することを目的とする装置ですが、取付工事の不備や車両事故などでの本製品の破損、microSDカードにおける半導体メモリーの特性である書換え寿命に起因する録画データの破損、消失について、それらにより生じる損害に対して弊社は責を負いません。
- 取付工事に当たり電源配線工事ではキーoffでも給電されている電源ラインにも配線を行いますので、配線を誤りますとバッテリー上がりや車両火災の原因となる恐れがあります。P11の「セットアップと取付」に従い配線工事には十分ご注意ください。万一、そのような事象が発生した場合でも弊社はその責を負いません。

⚠ microSDカード使用時の注意事項

- **定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。**
- **安定してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicroSDカードをフォーマットしていただくことをお勧めします。(PC上でのフォーマットを推奨)**
- **microSDカードは分解、改造その他加工はしないでください。**
- **本体よりmicroSDカードを取り出す場合は、製品の電源を一旦切り後方LEDが消灯してから取り出してください。**
- **大切なデータは、PCや他の保存装置にバックアップしてください。**
- **microSDカードは消耗性部品です。定期的に記録映像を確認し、6ヶ月を目安に交換されることをお勧めします。**

ご使用上のご注意

製品を誤って扱った場合、重傷や死亡に至る危険な状況に繋がるおそれがありますので、お取り扱いには充分ご注意ください。

⚠ 警 告

- **運転中にドライブレコーダーの操作を行わないでください…**
  操作が必要な場合は、安全なところに駐車した上で行ってください。
- **ドライブレコーダーは正しい入力電圧でご使用ください…**
  爆発や火災の危険があり、その場合には大きな被害が発生する可能性があります。
- **ケーブルは動かないよう固定し、コネクターにしっかり挿入してください。また、傷んだケーブルは使用しないでください…**
  接点が不安定な場合、火災の原因になることがあり、録画が正しく行われない場合があります。

⚠ 注 意

- **ドライブレコーダーを分解、改造しないでください…**
  - 感電、車両破損及びデータ損失の原因となります。
  - 製品の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは弊社サービスへお申し付けください。
- **microSDカードを取り外すときは、必ず本製品の電源をOffにして後方LEDが消灯したあとに行ってください…**
  製品動作中にmicroSDカードを取り出すと、誤動作やmicroSDカード内のデータが破損する恐れがあります。
- **車両の前面ガラスにフィルム等が貼られている場合、録画画質が低下することがあります…**
- **ドライブレコーダーを高温及び低温に長時間放置しないでください…**
  - 一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
  - 車室内、本体が常温になってから起動してください。
  - 結露のない状態でご使用ください。
- **ドライブレコーダーのレンズは常に清潔な状態でお使いください…**
  レンズが汚れますと録画映像が鮮明でなくなります。
- **ドライブレコーダーを長時間使用する場合、通風を良くしてください…**
  本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- **本体の清掃、お手入れの際には、水、ワックスその他洗剤を本体にかけないでください…**
  故障や感電を引き起こす可能性があります。
- **車両運転前に本製品の取付状態・動作状態をご確認ください…**

製品の構成(同梱品一覧)

■ **製品開封後、同梱品をご確認ください。**

(注意)
- mictoSDカードにはすでに「KEIYO Viewer」ソフトが保存されています。
- 「KEIYO Viewer」ソフトは事前にPCへインストールすることを推奨します。

※構成は予告なく変更することがあります。

各部の名称(製品本体)

セットアップと取付

1. microSDカードの挿入

本体のmicroSDカードカバーを開け、microSDカードを図の方向に挿入します。

- microSDカードの挿入方向を誤ると故障の原因となることがあります。
  ご注意ください。
- microSDカードを抜き差しする場合は、必ず本体の電源を切ってから後方LEDが消灯した後に行ってください。

（注）microSDカードを挿入しないとオープニング画面のまま、"microSDカードを確認してください。"と言う音声案内が繰り返されます。

（注）同梱品の中でmicroSDカード内「KEIYO Viewerソフト」を事前にPCへインストールしてから、製品本体へ挿入してください。（詳しくはP27を確認してください。）

2. 車両への取付（本体）

本体の取付位置を決めたら取付ブラケットの剥離紙を剥がし、フロントガラス上部と平行になる様に取付します。

ご注意!!

添付の両面テープは再接着不可です。取付ブラケットを仮止めし、映像を記録、再生して取付位置をよく確認してください。

ガラスの上部20%の範囲内で視界の妨げにならない位置に取付てください。

セットアップと取付

3. 車両への取付（GPSアンテナ）

GPSアンテナの取付位置を決めたら剥離紙を剥がし、GPSアンテナをフロントガラス上部と平行になる様に取付します。

ご注意!!

添付の両面テープは再接着不可です。仮止めし、取付位置をよく確認してください。

ガラスの上部25 mm以内の範囲内で視界の妨げにならない位置に取付てください。

（注）GPSアンテナは、ドライブレコーダー製品本体から20 cm以上離れた場所に取付してください。

ご注意!!

- 製品本体から20 cm以上離れた場所に取付て下さい。20 cm以内の場合、製品本体からのノイズによりGPS受信感度が低下する場合があります。
- 車のフロントガラスが濃いコーティングやメタルコーティングされている場合、信号遮断によりGPS受信感度が低下する場合があります。
- 車に他のGPSアンテナがある場合、干渉によりGPS受信感度が低下する事があります。
- GPS信号の受信状態によっては、実際の車の位置と異なる場所が記録される場合もあります。

4. 車両への取付（後方カメラ）

後方カメラの取付位置を決めたら、剥離紙を剥がしリアガラス上部と平行になる様に取付します。

（注）後方カメラは防水仕様ではございません。
必ず車両室内への取付を行ってください。

セットアップと取付

5. GPSアンテナの配線

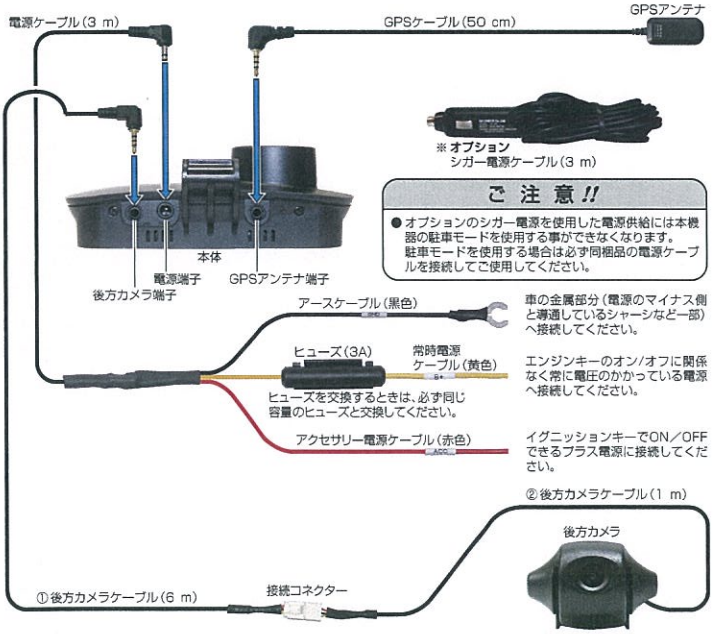
- GPSアンテナを接続すると、GPS信号の受信後に時計が自動的に修正され、走行場所も記録されるようになります。
- GPSアンテナを接続する時は、必ず電源をOFFにした状態で接続してください。
- GPS信号を受信した状態で録画された映像をKEIYO Viewerソフトで再生すると車の走行場所を地図上に表示したり、その時の走行速度等が分るようになります。
- 他の機器のGPSアンテナやETCアンテナなども製品本体と20 cm以上離れた場所に取付してください。

6. 後方カメラの配線

- 後方カメラを接続すると、後方カメラの映像が録画出来るようになります。
- 後方カメラを接続する時は、必ず電源をOFFにした状態で接続してください。

7. 電源ケーブルの配線

電源ケーブルを接続する時は、車両側への接続を行った後に電源ケーブルの配線を行ってください。電源プラグを本体の電源端子にしっかり差し込みます。
ケーブルは運転の妨げにならないような取り廻しを行い、テープやクランパで固定するなどしてください。



ご注意!!

- オプションのシガー電源を使用した電源供給には本機器の駐車モードを使用する事ができなくなります。駐車モードを使用する場合は必ず同梱品の電源ケーブルを接続してご使用してください。

推奨取付角度

■ 推奨取付角度

※ 地平線が画面の上下中央に、くるような角度にする。

■ 好ましくない取付角度

※ 地平線が画面の上下中央より、下にきている。

録画解像度と録画時間

モード	条件	録画状態	録画フォルダ	録画時解像度	
				本体（前方）カメラ	後方カメラ
常時モード	常時録画	常時録画中	常時	HD（1280×720 P）	VGA（640×480）
	衝撃（G）センサー検知	イベント録画中	イベント		
駐車モード	常時録画	駐車常時録画中	駐車	VGA（640×480）	
	衝撃（G）センサー検知	駐車イベント録画中	イベント	HD（1280×720 P）	
	動体検知（映像）	駐車イベント録画中	駐車		
手動録画	電源/手動録画ボタン短く押す	イベント録画中	イベント		

■ 録画ファイル説明

● 常時モード
- 常時録画中（1ファイル 60秒）、イベント録画中（1ファイル 20秒）
  （注）イベント録画中については、イベント前後（各10秒）録画されます。

● 駐車モード
- 常時録画：駐車モード設定時間を過ぎたあとに1ファイル60秒で秒間1 fpsの常時（PARK）録画を行います。
- イベント：駐車モードの常時録画中に設定した衝撃センサーが反応した前後10秒（合計20秒間）最大29.9 fpsでイベント（EVT）録画を行います。
- 動体検知：駐車モードの常時録画中撮影している画像に動きがあった場合前後10秒（合計20秒間）最大29.9 fpsでイベント（EVT）録画を行います。

● 手動録画
- 手動録画中（1ファイル 20秒）
  （注）手動録画については、手動ON前後（各10秒）録画されます。

LED状態別動作説明

LED		動作状態
状態(青)	OFF	駐車モード(駐車イベントのみ)
	ON	常時録画/駐車常時録画/microSDカードフォーマット中
録画(赤)	OFF	設定や再生モードに移行した時
	点滅	常時録画/駐車常時録画/駐車イベント(録画中)
	ON	駐車モード(駐車イベント)にて待機中
青/赤	同時 点滅	異常動作
	交互 点滅	ファームウェアアップデート中

(注) エンジンを停止しても、5分間は常時録画をして自動的に製品本体の電源がきれます。

保存フォルダ別録画可能時間

■同梱のmicroSDカード16 GBを使用時の場合

メモリー用量	CH	区分	常時 (INFINITE)	イベント (EVENT)	駐車モード (常時録画) (PARKING)	駐車モード (駐車イベント) (PARKING) (動態検知のみ)
16 GB	2 CH 前方+後方	保存割合	40 %	20 %	40 %	
		保存容量	約6 GB	約3 GB	約6 GB	
		録画時間	約110分	約160件	約220分	約310件
	1 CH 前方	保存割合	40 %	20 %	40 %	
		保存容量	約6 GB	約3 GB	約6 GB	
		録画時間	約120分	約170件	約240分	約330件

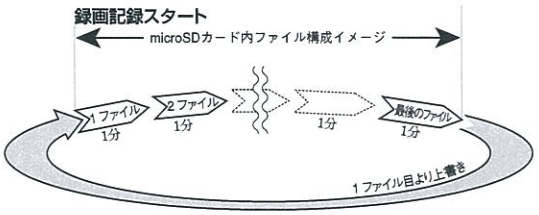
本体初期設定値

- ●録画モード：常時録画
- ●駐車モード：駐車イベント
- ●駐車切替時間：5 分
- ●衝撃感度調整：4
- ●録画画質：高
- ●録画映像：前・後
- ●マイク：ON
- ●音量：3
- ●LCD OFF：30 秒
- ●タイマーOFF：12 H
- ●電源遮断電圧：11.9 V

microSDカードの管理

■ファイル構成

●microSDカードには、1分(60秒)毎に録画ファイルが作成されます。
microSDカードのメモリー容量がいっぱいになった場合には、古いファイルから順次上書きされます。
(注) 録画時間が1分(60秒)に満たない状態で電源を切った場合でも、その時点でのファイルが作成されます。



- 常時録画ファイルは常時フォルダ(INFINITE)へ自動的に保存されます。
  (注) 常時録画ファイルは、microSDカードの容量40%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。
- 駐車常時録画ファイルは駐車フォルダ(PARKING)へ自動的に保存されます。
- 駐車イベント録画ファイル(動体検知)は駐車フォルダ(PARKING)へ自動的に保存されます。
  (注) 駐車常時ファイル、駐車イベントファイルは、microSDカードの容量40%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。
- 手動録画ファイルはイベントフォルダ(EVENT)へ自動的に保存されます。
- 常時録画中に手動録画及びイベント録画が有った場合には、イベントフォルダ(EVENT)へ自動的に保存されます。
- 駐車常時録画中に手動録画及びイベント録画が有った場合には、イベントフォルダ(EVENT)へ自動的に保存されます。
  (注) 手動録画ファイル、常時録画中のイベントファイル、駐車常時録画中のイベントファイルは、microSDカードの容量20%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。

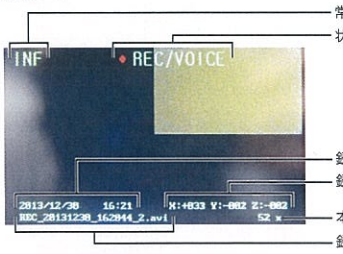
**安心してお使いいただくため、1カ月に2回程度はmicroSDカードをフォーマットしていただくことをお勧めします。
(PC上でのフォーマットを推奨)**

動作説明

本製品は、お車のエンジンをかけて電源がON状態になると、初期画面「KEIYOロゴ画面」「警告画面」と続いたあとに「録画を開始します。」のメッセージが流れ常時録画を開始します。(常時録画モード:INF)
※常時録画モードに入る前の数秒間(7～8秒)録画待機(BUF)があります。

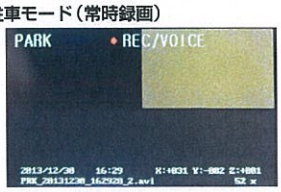
前方/後方PreView映像説明

■常時モード



- 常時録画モード
- 状態表示エリア
  - REC/VOICE表示の場合：録画中(音声録音あり)
  - REC表示の場合：録画中(音声録音なし)
  - VOICE表示の場合：音声録音中
  - REC/VOICE表示の無い場合：待機中
- 録画中の日時
- 録画中の衝撃センサー値(3軸)
- 本体動作中の内部温度(℃)
- 録画中の保存ファイル名

■駐車モード(常時録画)



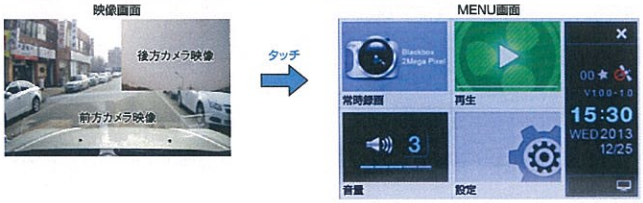
■駐車モード(イベント:動体検知)

■イベント(衝撃検知:手動)

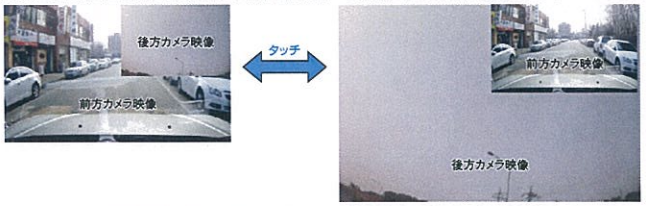
※衝撃検知は常時モードと駐車モードを含みます。

前方/後方PreView映像説明

●映像画面をタッチするとMENU画面に移動します。
MANU画面のまま何もしない場合には29秒経過すると録画画面に自動的に移動します。



●後方カメラ映像画面を押すと後方カメラ映像と前方カメラ映像がお互いに入れ替わります。



ご 注 意!!

microSDカードが挿入されていない場合、オープニング画面のまま、"SDカードを確認してください"という音声案内が繰り返されます。
microSDカードを正常に挿入すれば正常動作します。
microSDカードが挿入された場合でも"SDカードを点検してください"という**音声案内がされた場合にはmicroSDカードの認識が出来ていません。必ず本体の電源を切ってからmicroSDカードを抜いて差し直してください。**音声案内が繰り返された場合には別のmicroSDカードに入れ替えるか弊社サービスにお問い合わせください。

サブアイコン説明

- ✕をタッチすると常時録画・駐車録画へ戻ります。
- 00 駐車モード動作中に発生したイベントファイル数を表示。
  ※再生または、microSDカードを抜き差しすると表示が"00"となります。
- GPS受信状態を表示。GPSを受信すると⊘が消えます。
- ソフトウェアバージョン表示。
- 時刻と日付表示。
  GPS受信時は現在時刻と日付表示。
  GPS未受信時には設定された時刻と日付表示。
  (設定で時刻設定を変更することができます。)
- をタッチするとLCDを強制的に消灯します。
  画面が消えた後LCDを押せばメニュー画面に戻ります。

MENU画面説明

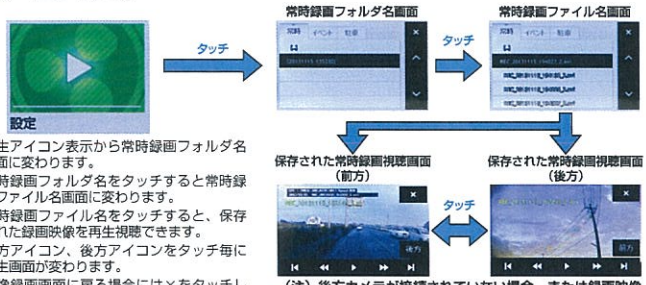
1. 常時録画アイコンをタッチ

● 常時録画アイコンをタッチすると駐車録画アイコンに変わります。

※ 常時録画と駐車録画の手動選択が出来ます。

● 常時録画：走行中に１分（60秒）単位に映像が保存されます。
● 常時録画：常時録画中に、衝撃感度調整がONの場合に衝撃が検知されると、衝撃発生前10秒、衝撃発生後10秒（合計20秒間）の映像が保存されます。
● 駐車常時録画：駐車中に１分（60秒）単位に映像が保存されます。
● 駐車常時録画：駐車常時録画中に、衝撃感度調整がONの場合に衝撃が検知されると、衝撃発生前10秒、衝撃発生後10秒（合計20秒間）の映像が保存されます。
● 駐車イベント録画：駐車中に、衝撃感度調整がONの場合に衝撃が検知されると衝撃発生前10秒、衝撃発生後10秒（合計20秒間）の映像が保存されます。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

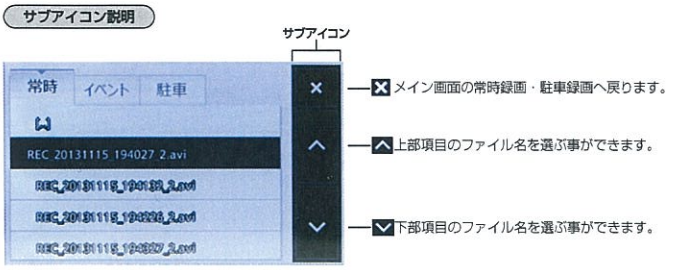
2. 再生アイコンをタッチ



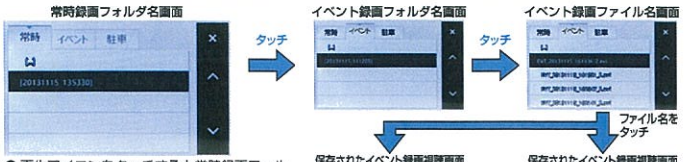
● 再生アイコン表示から常時録画フォルダ名画面に変わります。
● 常時録画フォルダ名をタッチすると常時録画ファイル名画面に変わります。
● 常時録画ファイル名をタッチすると、保存された録画映像を再生視聴できます。
● 前方アイコン、後方アイコンをタッチ毎に再生画面が変わります。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

（注）後方カメラが接続されていない場合、または録画映像設定にて前方のみに設定した場合には、後方画面の再生はしません。

サブアイコン説明

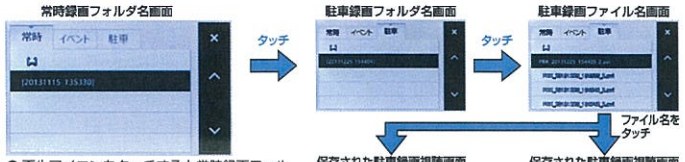


MENU画面説明

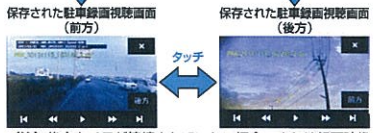


● 再生アイコンをタッチすると常時録画フォルダ名画面に変わります。
● 上部項目のイベントをタッチします。
● イベント録画フォルダ名をタッチするとイベント録画ファイル名画面に変わります。
● イベント録画ファイル名をタッチすると、保存されたイベント映像を再生視聴できます。
● 前方アイコン、後方アイコンをタッチ毎に再生画面が変わります。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

（注）後方カメラが接続されていない場合、または録画映像設定にて前方のみに設定した場合には、後方画面の再生はしません。

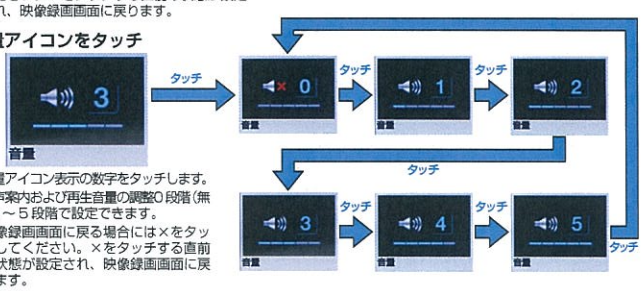


● 再生アイコンをタッチすると常時録画フォルダ名画面に変わります。
● 上部項目の駐車をタッチします。
● 駐車録画フォルダ名をタッチすると駐車録画ファイル名画面に変わります。
● 駐車録画ファイル名をタッチすると、保存された駐車映像を再生視聴できます。
● 前方アイコン、後方アイコンをタッチ毎に再生画面が変わります。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。



（注）後方カメラが接続されていない場合、または録画映像設定にて前方のみに設定した場合には、後方画面の再生はしません。

3. 音量アイコンをタッチ

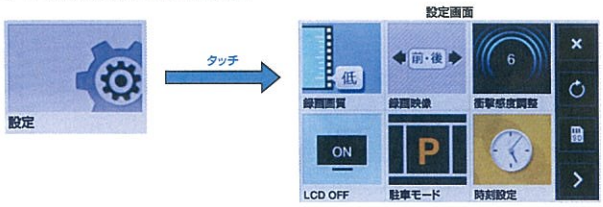


● 音量アイコン表示の数字をタッチします。
● 音声案内および再生音量の調整0段階（無音）～５段階で設定できます。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

設定画面説明

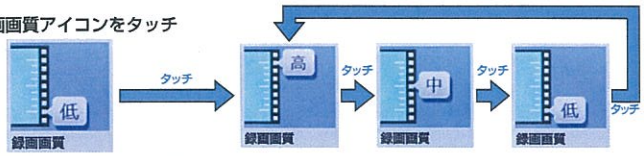
1. 設定アイコンをタッチ

● 設定アイコン表示が設定画面に変わります。



サブアイコン説明

2. 録画画質アイコンをタッチ



● 録画画質アイコン表示をタッチすると、画質を〔高〕/〔中〕/〔低〕に変更することができます。
● 〔高〕（画質）を選ぶと保存出来る録画時間が短くなり、〔低〕（画質）を選ぶと保存出来る録画時間が多少長くなります。
● microSDカードのメモリー容量がいっぱいになった場合には、古いファイルから順次上書き保存されます。
● 必要なファイルが有る場合には、定期的に別途の記録媒体にバックアップを推奨します。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

録画画質詳細設定説明

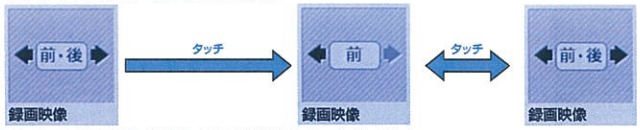
録画映像	録画画質	常時/駐車イベント 前方	常時/駐車イベント 後方	録画時間
前方カメラ	高	最大 29.9 fps	―	約240分
	中	最大 24.9 fps	―	約300分
	低	最大 19.9 fps	―	約360分
前方カメラ・後方カメラ	高	最大 24.9 fps	最大 9.9 fps	約240分
	中	最大 19.9 fps	最大 9.9 fps	約300分
	低	最大 14.9 fps	最大 9.9 fps	約360分

※ 録画時間は使用条件により変わります。
※ フレームレートは映像（変化が多い画面、明るさ）などにより変わります。設計は理想的条件でMAX30 fpsまで出来ますが、実際DATAを圧縮する時DATA量によって26～29.9 fpsに変動されます。（CPUの処理能力にも関係があります。処理するDATA量は多い場合、fpsが低くなります。）

設定画面説明

3. 録画映像アイコンをタッチ

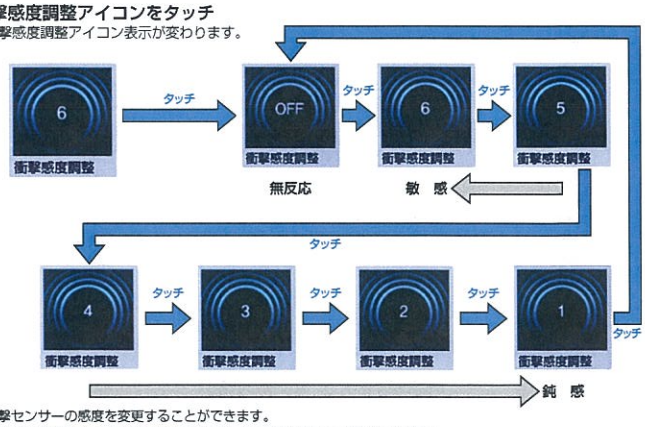
● 前・後アイコン表示が前アイコンに変わります。



● LCDモニターに表示するカメラ映像の表示方法を設定することができます。
● 録画映像アイコンをタッチすると録画映像およびモニター映像を〔前・後〕同時または〔前〕のみに切替できます。
● 〔前〕のみ設定の場合：本体カメラの映像だけが表示され、後方カメラが接続されていても後方カメラの映像は録画されません。
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

4. 衝撃感度調整アイコンをタッチ

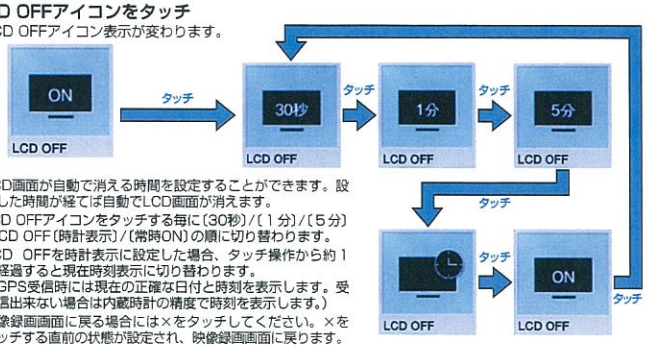
● 衝撃感度調整アイコン表示が変わります。



● 衝撃センサーの感度を変更することができます。
● 衝撃感度調整アイコンをタッチする毎に〔OFF〕/〔6〕/〔5〕/〔4〕/〔3〕/〔2〕/〔1〕の順に衝撃センサーの感度が切り替わります。
● 常時録画中または駐車モード中に設定された感度でセンサーが衝撃を検知すれば録画中のファイルをイベントファイルとして保存されます。
● 衝撃感度調整〔6〕に設定した場合、走行中の道路状態や搭乗者の移動、または大きな音だけでも衝撃として認識してしまい、実際衝撃が発生しなかったにもかかわらずイベントファイルとして記録されることがあります。そのような場合には設定を変更して最適な感度に調整してください。
● 衝撃センサーの感度を〔OFF〕に設定した場合、 常時録画中に実際に事故等の衝撃があってもイベントファイルとしては記録されません。〔OFF〕 設定時にはこのことに注意してください。
（ただし、 駐車モードでは感度を〔OFF〕に設定しても イベントファイルとして記録されます。）
● 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

5. LCD OFFアイコンをタッチ

●LCD OFFアイコン表示が変わります。

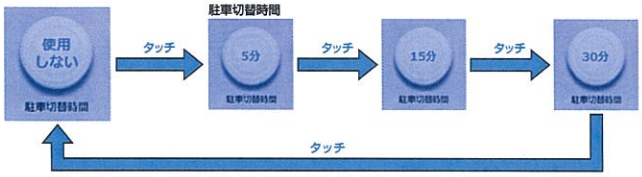


●LCD画面が自動で消える時間を設定することができます。設定した時間が経てば自動でLCD画面が消えます。
●LCD OFFアイコンをタッチする毎に〔30秒〕/〔1分〕/〔5分〕/LCD OFF〔時計表示〕/〔常時ON〕の順に切り替わります。
●LCD　OFFを時計表示に設定した場合、タッチ操作から約1分経過すると現在時刻表示に切り替わります。
（GPS受信時には現在の正確な日付と時刻を表示します。受信出来ない場合は内蔵時計の精度で時刻を表示します。）
●映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

6. 駐車モードアイコンをタッチ

●駐車モードアイコン表示が駐車モード設定画面に変わります。

●駐車モードアイコンをタッチする毎に〔駐車イベント〕/〔駐車常時〕に切替ります。



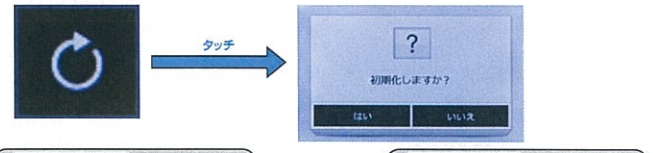
●駐車モードと駐車時間を設定することができます。
●駐車切替時間アイコンを押す度に〔5分〕/〔15分〕/〔30分〕/〔使用しない〕に切替ります。
●駐車モードで〔駐車イベント〕の場合車に衝撃が検知されれば〔常時録画〕に切替ります。
但し、常時電源接続時のみ動作します。
（注）駐車切替時間の設定を「使用しない」に設定しても、5分間はエンジンを止めても常時録画を行っています。
（注）駐車切替時間の設定を〔5分/15分/30分〕に設定した場合5分間は常時録画され、その後設定された時間にて駐車モードに切り替わります。
●映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

7. 時刻設定アイコンをタッチ

●時刻設定アイコン表示が時刻設定画面に変わります。

●内蔵時計の日付と時刻を手動で設定することができます。
●GPSアンテナが接続されて受信出来ている時には、自動的に時刻設定をします。
●変更したい項目をタッチ〔選択〕し、〔+〕アイコン/〔−〕アイコンを使って現在の日付・時刻に合わせた後、〔○〕〔決定〕アイコンをタッチすれば内蔵時計の時刻を修正決定出来ます。
●〔×〕〔終了〕アイコンをタッチすれば内蔵時計の時刻が修正前に戻ります。
●内蔵時計の時刻は映像録画時ファイル名とLCDモニターに表示される時刻に適用されます。

8. サブアイコンの初期値設定ボタンをタッチ



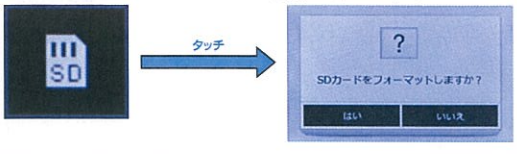
はい　をタッチした場合

製品の設定値を工場出庫初期値で設定します。
【初期化時規定値】
●録画画質：高
●録画映像：前・後
●衝撃感度調整：普通　中
●LCD OFF：30秒
●駐車モード：駐車イベント
●駐車切替時間: 5分
●タイマーOFF：12H
●電源遮断電圧：11.9V
●マイク：ON
●初期化が実行された後には既存に使用者が設定した値は消去されます。

いいえ　をタッチした場合

設定画面に戻ります。

9. サブアイコンのmicroSDをフォーマット設定ボタンをタッチ



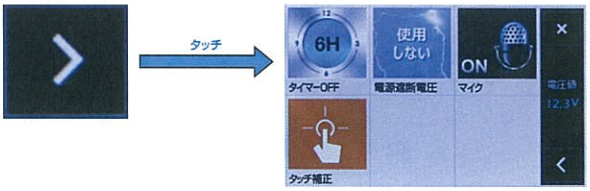
はい　をタッチした場合

microSDカードをフォーマットします。
●microSDカードを新たに購入して使用する場合、必ずmicroSDカードをフォーマットした後で使用してください。
●使用中のmicroSDカードをフォーマットする場合、microSDカードの中に保存されたファイルは全て削除されます。
保存が必要なファイルがある場合フォーマットする前に他の記録媒体にバックアップ（コピー）を推奨します。
●microSDカードの中にドライブレコーダー映像以外のファイルが入っているとドライブレコーダーが動作しないこともあります。
●同梱のmicroSDカードにはAN-R015専用Viewerソフトがインストールされており、microSDカードをフォーマットしますとViewerソフトも削除されますので必ずフォーマット前にPC側へインストールを行ってください。

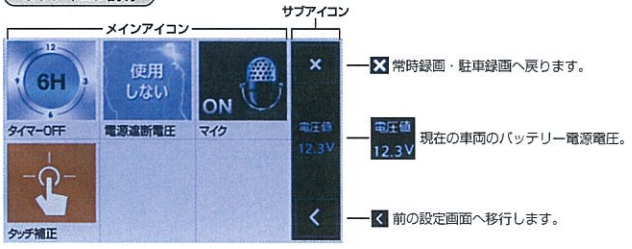
いいえ　をタッチした場合

設定画面に戻ります。

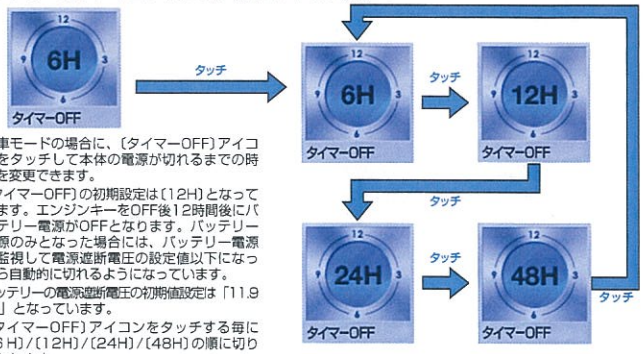
10. サブアイコンの次の設定画面へ移行ボタンをタッチ



サブアイコン説明



11. タイマーOFFアイコンをタッチ（駐車モードのみ有効）



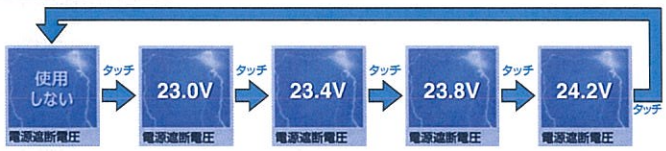
●駐車モードの場合に、〔タイマーOFF〕アイコンをタッチして本体の電源が切れるまでの時間を変更できます。
●〔タイマーOFF〕の初期設定は〔12H〕となっています。エンジンキーをOFF後12時間後にバッテリー電源がOFFとなります。バッテリー電源のみとなった場合には、バッテリー電源を監視して電源遮断電圧の設定値以下になったら自動的に切れるようになっています。
●バッテリーの電源遮断電圧の初期値設定は「11.9V」となっています。
●〔タイマーOFF〕アイコンをタッチする毎に〔6H〕/〔12H〕/〔24H〕/〔48H〕の順に切り替わります。
●映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

12. 電源遮断電圧アイコンをタッチ（駐車モードのみ有効）

- 遮断電圧設定は駐車モード用にドライブレコーダーを車のバッテリーに直結するので、車のバッテリー上がりを防止する機能です。
- 駐車モードで車のバッテリー電圧がタイマー設定時間と連動して設定した遮断電圧以下に低下した場合、その状態が５分間継続すると本体の電源を切ります。
- 電源遮断電圧アイコンをタッチする毎に（使用しない）/（11.5 V）/（11.7 V）/（11.9 V）/（12.1 V）順に切り替わります。
（現在のバッテリー電圧を考慮して遮断電圧を設定してください。）
- 現在の電源電圧は遮断電圧設定画面のサブアイコン中央に表示されています。
- 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

DC12 V電源の設定表示

DC24 V電源の設定表示

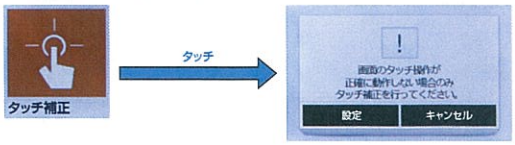


13. マイクアイコンをタッチ

- マイクONアイコン表示がマイクOFFアイコンに変わります。

- マイクアイコンをタッチする毎に内蔵マイク（音声録音機能）を〔ON〕または〔OFF〕に出来ます。
- 車内での会話や走行時の騒音等を録音したくない場合はマイクをOFFにして下さい。
- 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

14. タッチ補正アイコンをタッチ



設定 をタッチした場合

画面の指示に従って３回黄色い点をタッチしてください。

キャンセル をタッチした場合

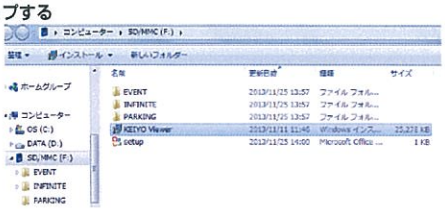
設定画面に戻ります。

- 映像録画画面に戻る場合には×をタッチしてください。×をタッチする直前の状態が設定され、映像録画画面に戻ります。

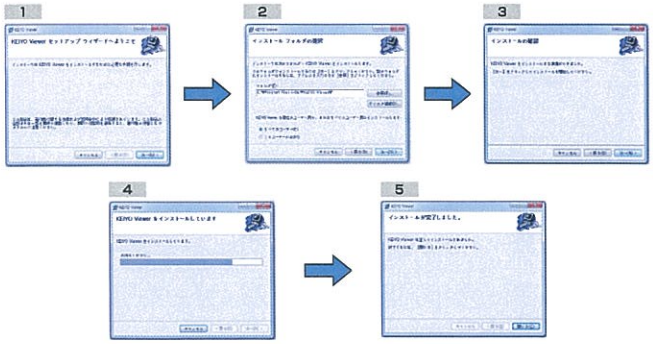
- KEIYO ViewerではmicroSDカードに録画された映像の確認とドライブレコーダーの環境設定ができます。
- 録画された映像は一般の動画プレーヤーでも再生することは可能ですが、前方カメラ映像のみの再生となります。
- 前方のカメラ映像と後方のカメラ映像を同時に確認するには KEIYO Viewerが必要です。
- 本製品同梱のmicroSDカードにはKEIYO Viewerのソフトが保存されています。このソフトをPCにコピー後、下記の手順によってセットアップしてください。
- **本製品同梱のmicroSDカードをフォーマットしますとmicroSDカードに保存されているKEIYO Viewerソフト・セットアッププログラムが削除されてしまいますので、購入後直ちに付属のmicroSDカードに保存されている KEIYO ViewerソフトをPCにコピーし保存することを推奨します。**

1. KEIYO Viewerをセットアップする

- microSDカードを同梱されているアダプタに挿入し、SDカードリーダー等を使ってPCに接続します。
- microSDカードに保存されているKEIYO Viewerソフト・インストールファイルをダブルクリックすれば PCビューアーのセットアップが開始します。



KEIYO Viewerのインストール手順



- 設置完了後デスクトップに "KEIYO Viewer" のショートカットアイコンが表示されます。
- KEIYO ViewerショートカットアイコンをダブルクリックをすればKEIYO Viewerプログラムが実行されます。
- スタート→すべてのプログラム→KEIYO Viewerの順番でも実行可能です。

2. KEIYO Viewer名称および機能

- microSDカードに保存されたファイルを開く。
- 画面キャプチャ：録画画像を画面キャプチャ（静止画）保存ができます。保存されたファイルは¥CAM_CAPTUREフォルダに有ります。
- 画面出力：録画された画面の印刷設定が可能です。
- 画面ズーム：録画画像をズーム（拡大）画面で確認ができます。
- 画面拡大/縮小：録画画像の拡大又は縮小ができます。
- 環境設定：本製品の設定及び画面キャプチャの保存先設定ができます。
- KEIYO Viewerバージョン情報
- 選択したファイルを再生（▷）/停止（||）
- 前に（◁||）/後に（||▷）一定間隔に移動（環境設定で移動間隔調節可能）
- 前項録画ファイル再生/後項録画ファイル再生

Ⓐ メインアイコン
Ⓑ 再生コントロールアイコン
① 再生画面
② 録画再生時間及び再生速度表示
③ 再生速度基本値復元
④ 再生速度調節
⑤ 衝撃（G）検知記録表示
⑥ 再生画面設定
⑦ 明るさ基本値復元
⑧ 明るさ調節
⑨ 音声ミュートON/OFF
⑩ 音量調節
⑪ 速度表示：GPSアンテナ接続時（GPS受信時）
⑫ GPS マップ表示：GPSアンテナ接続時（GPS受信時）
⑬ 再生リスト設定
⑭ 録画フォルダ別に再生リストを表示できます。

3. KEIYO Viewerの使い方およびファイルの開き方

① 「ファイルを開く」のアイコンをクリックします。
② microSDカードを挿入したカードリーダのドライブ名を選びます。
③ 「EVET」「INFINITE」「PARKING」の３つのフォルダ名があることを確認します。
④ 「確認」ボタンをクリックします。
⑤ 再生リスト（全体）が表示されます。
⑥ 「全体」をクリックすると全体の再生リスト表示がされます。
⑦ 「イベント」をクリックするとイベントの再生リスト表示がされます。
⑧ 「常時」をクリックすると常時の再生リスト表示がされます。
⑨ 「駐車」をクリックすると駐車の再生リスト表示がされます。

イベント再生リスト表示

常時再生リスト表示

駐車再生リスト表示

4. 画面ズーム

● 録画画面をズーム（拡大）画面で確認ができます。
● 画面ズームアイコンをクリックします。

画面ズームアイコン

ズーム（拡大）イメージ例

5. 画面拡大/縮小

● 録画画像の拡大または縮小ができます。
● 画面拡大/縮小アイコンをクリックします。

画面拡大/縮小アイコン

前方カメラ映像のみ拡大イメージ例

後方カメラ映像のみ拡大イメージ例

前方・後方カメラ映像の拡大イメージ例

6. 再生画面設定

● 前方/後方/全体のアイコンをクリックします。

再生画面設定アイコン

録画映像再生イメージ例（前方設定の場合）

録画映像再生イメージ例（後方設定の場合）

録画映像再生イメージ例（全体設定の場合）

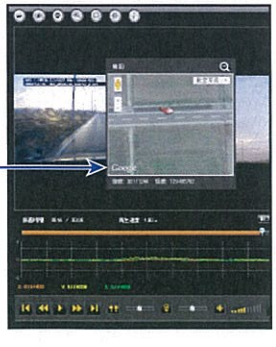
7. GPSマップ拡大表示

● GPSマップ表示の画面ズームアイコンをクリックします。
（注）GPSアンテナが接続されている場合のみ表示されます。
（注）GPSマップ表示するためには、PCがインターネットに常時接続されている必要があります。

ここをクリックすると「+」から「−」に変わり、GPS画面を自由に任意の場所へ移動することができます。

GPS受信時の表示例

GPSマップ表示の拡大例



8. 環境設定

● 本製品の設定および画面キャプチャの保存先設定ができます。
● 環境設定アイコンをクリックします。

環境設定アイコン

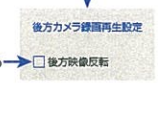
環境設定表示例

【PCビューアー基本既定値】

- ドライブ選択： 選択無し
- 駐車モード： 駐車イベント
- 駐車モード時間： 5分
- 衝撃感度調整： 4
- 録画画質： 高
- 録画映像： 前・後
- LCD OFF： 30秒
- タイマーOFF： 12H
- オーディオ状態： オーディオ録音「チェック有り」
- 音量： Level3
- 車両バッテリーの電源遮断電圧：
  乗用車（12 V）/遮断電圧：11.9 V
- ドライブレコーダ時刻設定：設定無し
- キャプチャーイメージの保存フォルダ設定：
  ¥CAM_CAPTUREフォルダに設定
- 後方カメラ録画再生設定：後方映像反転「チェック無し」（別紙参照）
- 映像間隔設定： 5

【後方カメラ録画再生設定】

●後方映像反転機能につきましては、再生映像のみで本製品の後方カメラ映像は反転出来ません。



後方映像反転：チェック有り（映像例）

後方映像反転：チェック無し（映像例）

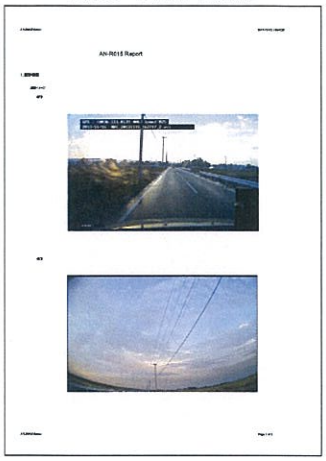
添付KEIYO Viewer説明

9. 画面出力

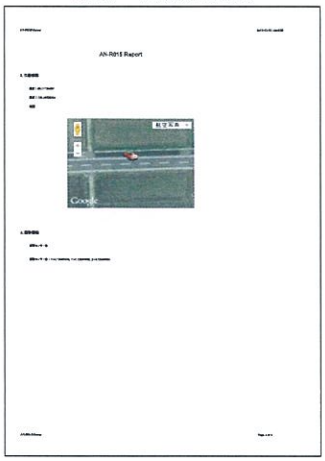
- 録画された画面の印刷設定が可能です。
- 画面出力アイコンをクリックします。

画面出力アイコン

印刷イメージ例（A４版出力）



印刷イメージ例（A４版出力）



本体のアップグレード

ファームウェアの更新時には、弊社ホームページ上でお知らせいたします。

1. アップグレードする

1. ホームページ（http://www.keiyoeng.co.jp/download/）から最新ファームウェアをPC側にダウンロードします。
2. ダウンロードしたアップグレードファイルを解凍します。
3. 本体の電源をOFFにしてmicroSDカードを取り外し、リーダーライターに挿入します。
4. 解凍したファイルをmicroSDカードの最上位階層にコピーします。
5. microSDカードを本体に挿入し、電源をONにします。
6. "アップグレードを開始します。終了するまで電源を切らないでください"の音声案内が流れアップグレードが始まります。
7. "アップグレードが終了しました"の音声案内が流れると、本体は一旦自動終了し、新しいファームウェアで再起動されます。

2. お問い合わせは…

弊社ホームページ

http://www.keiyoeng.co.jp/

製品仕様

カメラ	本体（前方）	2.0M ピクセル, 1/3.2 inch CMOS
	レンズ画角（前方）	約112 °（水平）×80 °（垂直）×120 °（対角）
	後方	0.3 Mピクセル 1/3.7 inch CMOS
	レンズ画角（後方）	約87 °（水平）×71 °（垂直）×100 °（対角）
解像度及びフレーム数	前方（のみ）	本体（前方）カメラ： 1,280×720（26～29.9 fps）録画画質"高"の場合
	前方/後方	本体（前方）カメラ： 1,280×720（21～24.9 fps）録画画質"高"の場合
		後方カメラ： 640×480（6～9.9 fps）録画画質"高"の場合
microSDカード容量		16 GB～MAX32 GBまで（Class 4以上）
録画モード		常時録画・イベント録画・駐車常時録画・駐車イベント録画
動作電源		DC 12V・24V
映像/音声コーデック		映像：H.264 / 音声：PCM
サイズ/質量		101.8×59.8×33.7 mm/110 g
動作温度		−20 ℃～+65 ℃
保存温度		−30 ℃～+80 ℃
構成品		本体（ブラケット付）、取扱説明書（保証書含）、 microSDカード（16 GB）、SDカードアダプター、 GPSアンテナ（50 cm）、後方カメラ（7 m）、 電源ケーブル（3 m）、ケーブルクランパ（4 P）

保証書（持ち込み修理）

保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書にしたがったお客様の正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、当社にて無償修理いたしますので、お買い上げの販売店、または弊社が指定するサービス窓口に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
3. 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については弊社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （1）本保証書のご提示がない場合。
   （2）本保証書に保証期間、販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   （3）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
   （4）お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷の場合。
   （5）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷の場合。
   （6）本製品に接続している弊社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷の場合。
   （7）正常なご使用方法でも消耗部品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
6. ご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
7. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社サービスにお問い合わせください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）